

1

だい に じ
第二次れい わ ねん ど
令和 7 年度きゅう ど ぼく せ こうかん り ぎ じゅつ けんてい
1 級 土木施工管理技術 検定
だい に じ けんてい し けんもんだい
第二次検定試験問題つぎ ちゅう い
次の注意をよく読んでから解答してください。ちゅう い
【注 意】

- これは第二次検定試験問題で、表紙とも 6 枚あります。
えんぴつ または シャープペンシル で、解答用紙に試験地・受検番号・氏名を記入してください。
(万年筆・ボールペンの使用は不可)
かいとう ていせい ば あい け
解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。
- 問題 1 ～問題 3 は全問解答してください。
もんだい 問題 1 の工事概要及び設問 1 のいずれかが無記載等の場合、不合格となります。
もんだい 問題 4 ～問題 11 は選択問題 (1), (2) です。選択した問題は、解答用紙の選択欄に○印を
かならず 記入してください。
せんたく もんだい
・選択問題 (1) は、問題 4 ～問題 7 のうち 2 問を解答してください。
(3 問以上 解答すると減点)
せんたく もんだい
・選択問題 (2) は、問題 8 ～問題 11 のうち 2 問を解答してください。
(3 問以上 解答すると減点)
- 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。
- 解答には、漢字のふりがなは必要ありません。
- 試験問題の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。
- 解答用紙は、試験監督者に直接提出してから退室してください。
かいとうようし
解答用紙は、いかなる場合も持ち帰りできません。
- 試験問題は、試験終了時刻 (16 時 00 分) まで在席した方で、希望者に限り持ち帰りを
し けんもんだい
認めます。途中退室者は、持ち帰りできません。

ちゅう い もんだい もんだい ぜんもんかいとう
(注 意) 問題 1 ～問題 3 は全問解答してください。

もんだい
問題 1 で

- ① 工事概要の解答が無記載又は記述漏れがある場合、
② 設問 1 の解答が無記載又は設問で求められている内容以外の記述の場合、
どちらの場合も不合格となります。

ひつ す もんだい
必須問題

【問題 1】 あなたが経験した土木工事を 1 つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、
次の〔設問 1〕、〔設問 2〕に答えなさい。
なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は、失格となります。

〔工事概要〕 あなたが経験した土木工事に関し、次の事項について解答欄に明確に記述しなさい。

〔注 意〕 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合、発注者名は一次下請業者名となります。
なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

- (1) 工事名
- (2) 工事現場における施工管理上のあなたの立場
- (3) 工事の内容
 - ① 発注者名
 - ② 工事場所
 - ③ 工期
 - ④ 主な工種
 - ⑤ 施工量

〔設問 1〕 工事概要に記述した工事の「品質管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

- (1) 具体的な現場状況と特に留意した品質管理上の技術的課題と、その課題を解決するために検討した項目
- (2) (1)で記述した検討項目の対応処置とその評価

〔設問 2〕 工事概要に記述した工事の「環境対策」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

〈環境対策の例〉

周辺環境対策：周辺地域の生活環境への対策（騒音や振動、水質汚濁、土壌汚染等）

自然環境対策：周辺地域の動植物等の生態系の保全対策

建設副産物等対策：建設副産物の発生抑制や分別解体、再使用、再資源化、適正な処理、再利用、CO₂排出量削減等の対策

- (1) 施工に際し判明した、環境対策上の技術的課題と、その課題を解決するために検討した項目
- (2) (1)で記述した検討項目の対応処置とその評価

ひつ す もんだい
必須問題

もんだい
【問題 2】

ろうどうあんぜんえいせいほうれいじょう いっぱんてき しゃかつろうどう き じゅんかんとかくしやうとど で けんせつぶつ きかい
労働安全衛生法令 上、一般的に所轄労働基準 監督署 長に届け出なければならない、建設物・機械
とう せつ ち とどけ かん つぎ ぶんしやうちゆう
等の設置 届に関する次の文 章 中の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句又は数値を解答欄
に記 述しなさい。

- (1) つりあし ば はり だ あし ば い がい あし ば せつ ち たか (イ) m い じょう
以上となるときは
(くみた から かいたい までの き かん にち み まん じやがい せつ ち か しよ しゅるいおよ ようと (ロ) ざいしつ
組立てから解体までの期間が 60 日未満は除外), 設置箇所, 種類及び用途,
及び主要寸法を明記し, 図面は (ハ) およ ぱい ち ず てん ぶ とど で
及び配置図を添付して届け出る。

- (2) かたわく し ほ こう せつ ち し ちゆう たか (ニ) m い じょう
以上となるときは, だ せつ
するコンクリート構造物の概要, (ロ) ざいしつおよ しゅうすんぼう せつ ち き かん めい き ず めん
や材質及び主要寸法, 設置期間を明記し, 図面は (ハ) およ ぱい ち ず てん ぶ とど で
及び配置図を添付して届け出る。

- (3) か せつ (ホ) せつ ち たか およ なが (イ) m い じょう
以上となるときは (くみた
から かいたい までの き かん にち み まん じやがい せつ ち か しよ (ロ) ざいしつおよ しゅうすんぼう せつ ち き
組立てから解体までの期間が 60 日未満は除外), 設置箇所, 材質及び主要寸法, 設置期
間を明記し, 図面は平面図, 側面図及び断面図を添付して届け出る。

ひつ す もんだい
必須問題

もんだい
【問題 3】

ろうどうあんぜんえいせい き そく さだ じ ぎやうしゃ おこな ついらくとう き けん ぼう し
労働安全衛生規則に定められている, 事業者が行わなければならない墜落等による危険の防止に
かん そ ち かいとうらん き じゅつ
関する措置を 2 つ解答欄に記 述しなさい。
ただし, かいとうらん れい どういつないよう ふ か
解答欄の (例) と同一内容は不可とする。

もんだい もんだい せんたくもんだい
問題 4 ～問題 11 は選択問題 (1), (2) です。

ちゅう い
(注 意)

もんだい もんだい もん かいとう もん い じょうかいとう げんてん
問題 4 ～問題 7 のうち 2 問を解答してください。(3 問以上 解答すると減点)

せんたく もんだい かいとうよう し せんたくらん じるし かなら き にゅう
選択した問題は、解答用紙の選択欄に○ 印を必ず記入してください。

せんたくもんだい
選択問題 (1)

もんだい
【問題 4】

なんじゃく じ ばん もり ど せ こう りゅう い てん かん つぎ ぶんしょうちゅう
軟 弱 地盤における盛土施工の留 意点に関する次の文 章 中の の(イ)～(ホ)に当てはまる
てきせつ こ く かいとうらん き じゅう
適切な語句を解答欄に記 述しなさい。

- (1) なんじゃく じ ばんじょう もり ど もり ど ちゅうおう ふ きん ちん かりょう のりかた ぶ ふ きん ひ かく おお もり
軟 弱 地盤上の盛土では、盛土 中央付近の沈下 量が法肩部付近に比較して大きいので、盛
ど せ こうちゅう
土施工 中はできるだけ施工面に 4 ～5 % 程度の (イ) こうばい ひょうめん へいかつ し あ
勾配をつけて、表面を平滑に仕上
げ、雨水の (ロ) ぼうし
を防止する。

- (2) なんじゃく じ ばん い どう ちん か ちょう は い どう けいしゃ
軟 弱 地盤においては、 (ハ) 移動や沈下によって丁 張りが移動や傾斜したりすること
もり ど せ こう と ちゅう もり ど けいじょう すんぽう わす
があるので、盛土施工の途 中で盛土形 状や寸法のチェックを忘れてはならない。

- (3) もり ど か じゅう なんじゃく じ ばん ちん か ちん かりょう おお く かん のりめんこうばい けいかくこう
盛土荷 重によって軟 弱 地盤が沈下するので、沈下 量の大きい区間では、法面勾配を計画勾
ばい し あ ちん か もり ど てん ぽ ふくいん ふぞく (ニ) もり ど ひつよう
配で仕上げると、沈下によって盛土天端の幅員が不足し、盛土が必要となることが
おお きょうよう こ ちん か み こ こうばい し あ よゆうはば もう せ こう
多い。このため、供 用後の沈下をあらかじめ見込んだ勾配で仕上げ、余裕幅を設けて施工す
ることが望ましい。

- (4) なんじゃく じ ばん ど こうこうぞうぶつ せ こうおよ なんじゃく じ ばんたいさくこう じっ し ちん か かん り あん
軟 弱 地盤における土工構造物の施工及び軟 弱 地盤対策工の実施においては、沈下管理や安
ていかん り (ホ) じっ し え けいそくじょうほう もと ひょう か おこな けっ か
定管理のための (ホ) を実施し、得られた計測 情報に基づいた評 価を行って、その結果
つぎ せ こう ひつよう
を次の施工にフィードバックすることが必要である。

せんたくもんだい
選択問題（１）

もんだい
【問題 5】

てっきん か こう くみたて かん ひんしつかん り けん さ かん つぎ ふんしょうちゅう
鉄筋の加工・組立に関する品質管理と検査に関する次の文章 中の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

- (1) はしら はり とう ふざいせつこう ふ てっきん さくそう ふざい か こうくみたて ず
柱・梁とスラブ等の部材接合部においては鉄筋が錯綜するため、部材ごとの加工組立図だけでは実際の組立状態が把握できないこともある。このため、 (イ) を活用し鉄筋の組立が可能かどうか事前に確認しておくことが望ましい。
- (2) てっきん か こう くみたて (ロ) を加えることは材質の著しい低下につながるの、
とく ひろう もんだい こうぞうぶつ ふざい さ ひつよう
特に疲労が問題となるような構造物、部材では避ける必要がある。
- (3) てっきん (ハ) を正しく保つために、本体コンクリートと同等以上の品質を有するモルタル製あるいはコンクリート製のスペーサを必要な間隔に配置しなければならない。
- (4) く た てっきん いち ぶ ちょう じ かんたい き ば あい てっきん (ニ) しょうり おこな
組み立てた鉄筋の一部が長時間大気にさらされる場合には、鉄筋の 処理を行うか、シート等による保護を行うものとする。
- (5) あっせつづぎ て せいじょう せつこう かくにん ほうほう がいかんけん さ (ホ) たん
ガス圧接継手で正常に接合されていることを確認する方法には、外観検査と 探傷検査がある。

せんたくもんだい
選択問題（１）

もんだい
【問題 6】

ち か まいせつぶつ きんせつ かしょ せ こう げん ば じっ し ぐ たいてき たいさく つぎ ぶん
地下埋設物に近接した箇所で施工するにあたって、現場で実施する具体的な対策について、次の文
しょうちゅう
章 中の の(イ)～(ホ)に当てはまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

- (1) まいせつぶつ よ そう ば しょ せ こう せ こう さき だ (イ) て あ 合わせて位
置 (平面・深さ) を確認した上で細心の注意のもとで (ロ) おこな まいせつぶつ しゅるい
位置、規格、構造等を原則として目視により確認すること。
- (2) くっさくえいきょうはん い まいせつぶつ ば あい まいせつぶつ い ち ぶっけん めいしょう ほ あん
掘削影響範囲に埋設物があることがわかった場合は、埋設物の位置、物件の名称、保安
じょう ひつよう じ こう かん り しゃ れんらくさきどう き ざい (ハ) とり つ とう こう じ かんけいしゃ かくじつ でん
上の必要事項、管理者の連絡先等を記載した (ハ) を取付ける等、工事関係者に確実に伝
たつ
達すること。
- (3) こう じ せ こうちゅう かん り しゃ ふ めい まいせつぶつ はっけん ば あい まいせつぶつ かん ちょう さ さい ど
工事施工中において、管理者の不明な埋設物を発見した場合、埋設物に関する調査を再度
おこな かん り しゃ かくにん とうがいかん り しゃ (ニ) もと あんぜん かくにん あと そ ち
行って管理者を確認し、当該管理者の (ニ) を求め、安全を確認した後に措置すること。
- (4) くっさくだんめんない い せつ ち か まいせつぶつ ば あい (ロ) だん かい ほんたいこう じ
掘削断面内に移設できない地下埋設物がある場合は、 (ロ) 段階から本体工事の
うめもどし ろ めんふつきゅう だんかい あいだ てきせつ まいせつぶつ (ホ) い じ かん り
埋戻・路面復旧の段階までの間、適切に埋設物を (ホ) し、維持管理すること。

せんたくもんだい
選択問題（１）

もんだい
【問題 7】

ど ぼくこうじ せ こうけいかくさくせいじ りゅうい じこう つぎ ふんしょうちゅう
土木工事の施工計画作成時に留意すべき事項について、次の文章 中の の(イ)～(ホ)に当て
てきせつ ごく かいとうらん きじゅつ
はまる適切な語句を解答欄に記述しなさい。

- (1) せ こうけいかく せつけい としょあよ じぜん (イ) けっ か もと けんとう せ こうほうほう こうてい あんぜん
施工計画は、設計図書及び事前の結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全
たいさく かんきょうたいさくとうひつよう じこう りつあん
対策、環境対策等必要な事項を立案すること。
- (2) かんけい き かんとう (ロ) ちょうせい ひつよう こうじ ないよう いっぱんてき けいかくりつあん
関係機関等との (ハ) じょうけん はあく
条件となるのでよく把握すること。
- (3) とく とし ない こうじ ろうどうさいがいぼうし (ニ) さいがいぼうし じょう あんぜんかくほ
特に都市内の工事にあつては、労働災害防止のほかに災害防止上の安全確保に
じゅうぶんりゅうい
十分留意すること。
- (4) げん ば そ しきへんせいおよ ぎょう む ふんたん (ホ) けいとう めいかく さいがい
現場における組織編成及び業務分担、系統が明確なものであること、また、災害
とう ひ じょう じ れんらくけいとう めい き
等非常時の連絡系統も明記しておくこと。

ちゅう い
(注 意)

もんだい もんだい もん かいとう もん い じょうかいとう げんてん
問題 8 ～問題 11 のうち 2 問を解答してください。(3 問以上 解答すると減点)

せんたく もんだい かいとうよう し せんたくらん じるし かなら き にゅう
選択した問題は、 解答用紙の選択欄に○ 印を必ず記 入してください。

せんたくもんだい
選択問題 (2)

もんだい
【問題 8】

うちつぎ め かん つぎ こうもく せ こうじょう りゅう い てん かいとうらん
コンクリートの打継目に関する次の 2 項目について、 施工 上の留 意点をそれぞれ 1 つずつ解答欄
に記 述しなさい。

ただし、 解答欄の (例) と同一内容は不可とする。

- ① うちつぎ め い ち き さい りゅう い てん
打継目の位置を決める際の留 意点
- ② すいへいうちつぎ め しより りゅう い てん
水平打継目の処理の留 意点

せんたくもんだい
選択問題 (2)

もんだい
【問題 9】

じょうほう か せ こう ぜんきゅうそく い えいせい もち もり
情 報化施工における TS (トータルステーション) ・GNSS (全 球 測位衛星システム) を用いた盛
ど しめかた かんり せ こう じっ し じこう か き えら ばんこう じっ し
土の締固め管理において、 施工における実施事項を、 下記の①～④から 2 つ選び、 番号とその実施
じこう かいとうらん き じゅう
事項を解答欄に記 述しなさい。

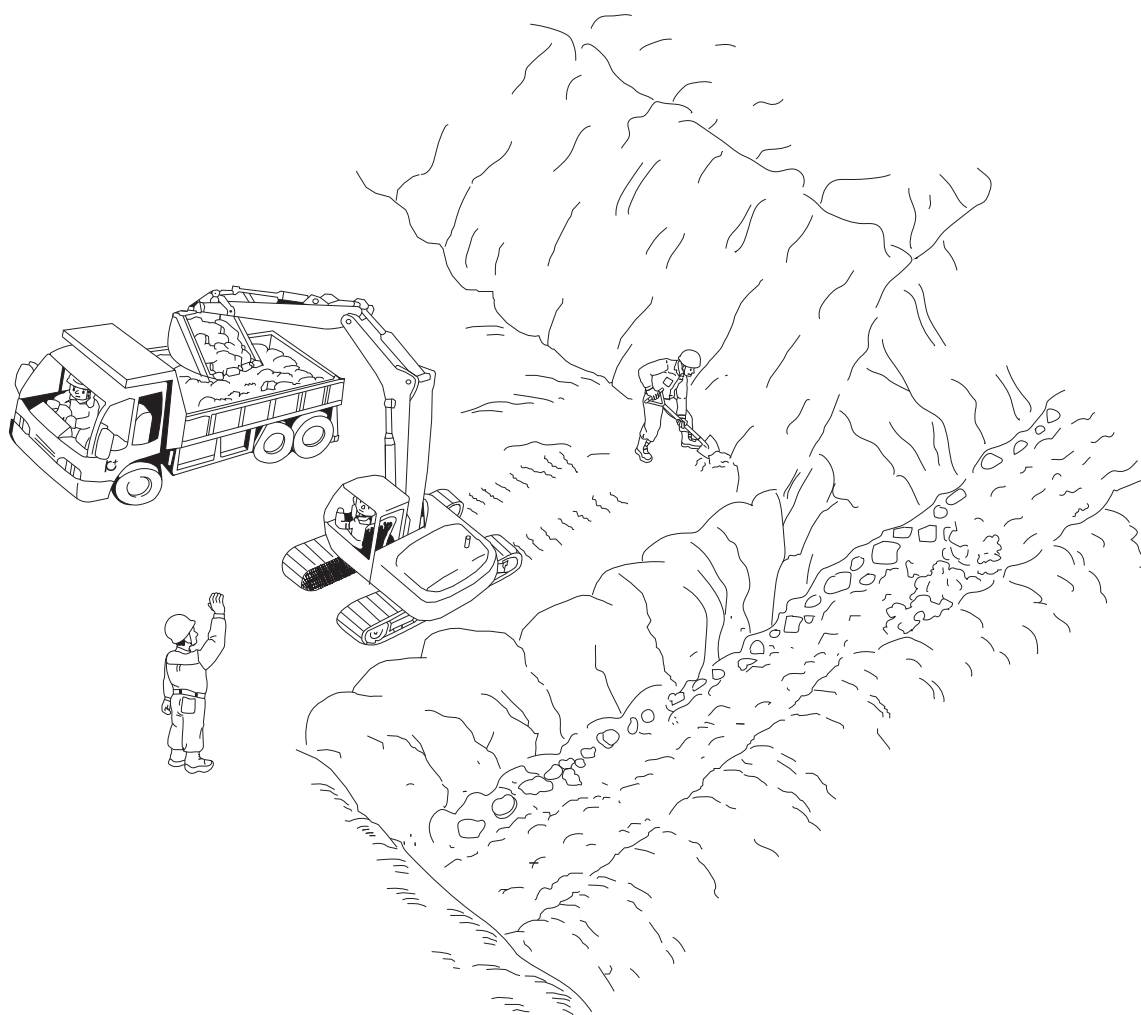
ただし、 解答欄の (例) と同一内容は不可とする。

- ① し けん せ こう
試験施工
- ② もり ど ざいりょう ひんしつ
盛土の材 料の品質
- ③ ざいりょう だ
材 料のまき出し
- ④ しめかた
締固め

せんたくもんだい
選択問題（２）

もんだい
【問題 10】

けんせつげんば しゃりょうけいき かい くっさくまた つみこ さぎょうちゅう ろうどうさいがい ぼうし たいさく
建設現場における、車両系機械による掘削又は積込み作業中の労働災害とその防止対策について、
ろうどうあんぜんえいせいきそく さだ じぎょうしゃ じっし じこう かいどうらん きじゅつ
労働安全衛生規則に定められている、事業者が実施すべき事項を５つ解答欄に記述しなさい。

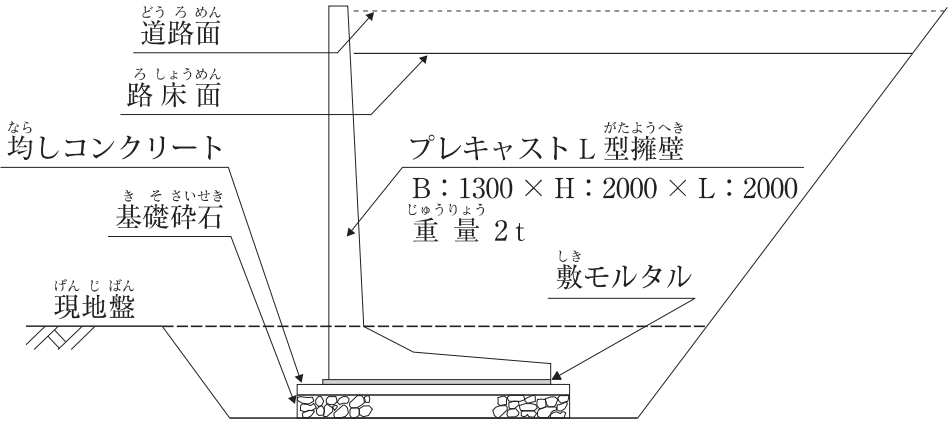


せんたくもんだい
選択問題（2）

もんだい
【問題 11】

か ず
下図のようなプレキャスト L 型擁壁を^{がたようへき}設置し^{せつち}路床^{ろしょうめん}面まで^{せこう}施工する^{ばあい}場合の^{せこうてじゅん}施工手順^{つぎ}が^{ひょう}次の表に^{しめ}示されているが、^{せこうてじゅんばんごう}施工手順番号①～③のうちから 2 つ選び、^{えら}それぞれの番号と^{ばんごう}該当する^{がいとう}工種名及び^{こうじゅう}施工上の^{りゅういじこう}留意事項^{きじゅつ}を解答欄に記述しなさい。

ただし、^{しゅようきかい}主要機械の^{そうさ}操作及び^{あんぜんかんり}安全管理に関するものは^{のぞ}除く。



せこうてじゅんばんごう 施工手順番号	こうじゅめい 工種名	しゅようきかい 主要機械	せこうじゅうりゅういじこう 施工上の留意事項
①	じゅんびこう 準備工 (3次元設計データの作成) ↓ きそさいせきこう 基礎砕石工 ↓ なら 均しコンクリート工 ↓ しき 敷モルタル工 ↓	バックホウ	せこうずしたが ・施工図に従って位置・高さ (3次元設計データ)を正確に ICT建機に設定する。 きそこう ・基礎工は、地下水に留意しドラ イワーク施工する。 ちんか ・沈下・滑動・不陸等が生じない ようにする。 がたようへき ・プレキャスト L 型擁壁の底面 と均しコンクリートが密着する よう、敷モルタルを施工する。
②	↓ ↓	ラフテレーンクレーン (移動式クレーン)	
③	↓ ↓	ハンドガイドローラ・ ランマ	
	ろしょうこう 路床工 ↓ あとかたづ 後片付け工		しきなら ・敷均し材の性質をよく把握し て施工する。 せいそうおよ ・清掃及び整理整頓する。